

小樽市立北陵中学校

小樽市清水町5番1号

☎ 0134-24-5500

KONPEKI

校訓 よりよく創る



教育目標 小樽の未来をつくる 北陵生の育成

- 深く学び、考え、表現できる生徒
- 豊かに人とつながり、思いやりのある生徒
- たくましく心身を鍛え、自らを律する生徒

第4号

紺碧

## 一流日本料理人のお話から ～あいさつと返事の大切さ～ 校長 岡本清豪

先日、購読している雑誌に、京都で440年以上続く老舗料亭元主人の園部平八氏のお話が掲載されていました。「和の文化・伝統と京都人(日本)の心」という題でした。ご存じのように日本の和食は「世界無形文化財」となっています。和食は、旬のもの、素材を大切に、食べる人に心を込めて出します。また栄養面でも素晴らしく、健康的で体にもよいと言われています。そのため、日本料理は、全国各地の郷土料理、そして家庭で作る料理を含め、世界で認められているのです。

そんな和食の魅力を最大限に引き出そうと、園部さんは伝統を受け継ぎながらも新しい料理を考案するなど、精力的に活躍しています。

その園部さんが弟子を一人前にするまでのお話です。

まず、「料理人になりたい」と言ってきた若者には「5年間続けられるか」と必ず聞きます。5年間は「板前」となるために必要な期間だからです。途中でやめてしまうと、その次にどこへ行ってもまた初めからのやり直しになります。また、板前を目指すということは、「就職する」のではなく「修行する」ことだと教えています。1年目は買い出しや掃除のみ、2年目に盛り付けを教わり、3年目に前菜の盛り付けや「だし巻き」をつくります。4年目で魚をおろし1つの作り場を任せます。5年目でやっと「板前」となって一人前になるのです。

その5年間で一番大切にしていることが、「あいさつ」と「返事」です。しっかりと挨拶ができる人間でないと何をやっても身に付きません。一つ一つのことに「返事」がないと次には進めません。

これを読み、なるほど、仕事をする上で、どんな仕事でも大切なことは「あいさつ」と「返事」だと改めて思いました。

教育哲学者の森信三氏は、根本的なしつけの三か条として、「第一、朝必ず親にあいさつをする子にしつけること」、「第二、親に呼ばれたら必ず、『ハイ』とはっきり返事のできる子にすること」、「第三、履物を脱いだら必ずそろえ、席を立ったら必ずイスを入れる子にすること」をあげています。この中で第一と第二で「あいさつ」と「返事」をあげる理由について氏は、「第一と第二で『我(が)』がとれるからです。つまり『あいさつ』と『返事』で一応人間としての我を抜く、これが秘訣なのです。ですからこの二つのしつけを徹底すると、子どもはいつの間にか、素直になって親の言うことを聞くようになるのです。」と話しています。

何事も定着するためには、まず「受け入れよう」とする「素直な気持ち」(我をとる)を「あいさつ」と「返事」で表せなければならないでしょう。

家庭でも学校でも、中学生の時期に身に付けるべきことは数多くあります。中でも、まず行動の根本としての「あいさつ」と「返事」は重視したいところです。

森信三氏はこの二つを定着する秘訣は、家庭では家族同士、学校では先生というように、身近な大人が範を示すことだと言っています。さらに、気持ちよく「あいさつ」や「はい」と返事することは、日本人として「和食」と同様に大切な習慣であり文化なのだと思います。

この夏休み、改めて、ご家庭でも「あいさつ」と「返事」を生活習慣の基本として、繰り返しの指導をお願いします。そして、日本人としての誇りを持って、将来、新たな小樽を創造していく北陵生になってほしいと願っています。

### 大会結果 ■通信陸上(6/25) ◆中体連バスケット(7/1) ●中体連陸上(7/1) ★中体連柔道(7/2)

- ◆バスケットボール男子3位(準決勝・北陵38-53桜町)
- 陸上男子総合3位
- 陸上女子総合優勝
- 藤井彩花 100m1位(13秒65)・200m1位(28秒58)
- 木藤心音 1年100m3位(14秒65)・幅跳3位(3m85)
- 渡辺隼 1年100m1位(13秒02)
- 一原夕織 1500m3位(6分24秒08)
- 伊藤翔 800m3位(2分29秒22)・1500m2位(4分52秒58)
- 横山陸人 幅跳3位(4m92)
- 橘悠人 砲丸1位(8m36)
- 門眞昇太 幅跳2位(5m12)
- 安藤倭也 400m3位(59秒93)
- 高橋菜彩 幅跳2位(4m26)
- 渡辺隼・門眞昇太・橘悠人・安藤倭也 4×100mR3位(48秒76)
- ★井勇吾 55kg級1位

◎藤井彩花さんと橘悠人さんが全道陸上(釧路7/25~27)に、櫛井勇吾さんが全道柔道(千歳7/27・28)に出場します!!



\*\*\*\*\* 危険から身を守る \*\*\*\*\*

夏休みは人が多く出回ることや、開放感による心の油断などから様々な事故が起きやすくなります。防ぎたい事故はたくさんありますが、過去に起きた2件に注目し、対策を紹介しますので心がけてほしいと思います。

▶性犯罪から身を守る…

今年5月半ば、小樽市内の女子学生が通学中のバス車内で痴漢行為を受ける事案が発生しました。女子学生は恐ろしさのあまり声を上げることも逃げることもできなく、心に深い傷を負いました。本校は、市内ではどこよりもバス通生が多いこともあり、小樽警察署とも連携し助言もいただいています。警察によると自己防衛に努めることが最大の未然防止だということです。バス乗車の際は、次のことを心がけましょう。

- ① 1人は避け、複数で乗車する。(1人の場合が狙われやすい)
- ② 不審と思う人からできるだけ距離をとり乗車する。また、車内前方運転手の近くの乗車が望ましい。(運転手に助けを求めやすい)
- ③ 痴漢行為を受けた場合、その場から離れる。混んでいて身動きがとれなければ声に出して助けを求める。(離れたり、声を出したりできない時には、「防犯ブザーを鳴らす」ことが効果的です。小樽警察では、防犯ブザーの携帯もすすめています。)

小樽警察でも不定期に巡回いただけることとなっておりますが、男女問わず、怖い思いをしないように十分気をつけましょう。

▶開設の海水浴で安全を第一に…

6年前は銭函の海水浴区域外の海岸で高校生3人が、昨年は海水浴開設を終えた蘭島の海岸で20代の男性1人が、沖に流され溺れて亡くなっています。離岸流や風の影響で沖に流されると、大人でも自力では戻れなくなる場合が多いとのこと。次のことを守り、事故を防止しましょう。

- ① 海水浴場として開設していない場所、時期の海で泳がない。(開設していないのは、泳ぐには危険な場所だということ、または、救護員や監視員をつけていないということです。)
- ② 万一、沖に流された時は、「体を浮かせて呼吸を確保」して救助を待ち、無理に泳がない。
- ③ 溺れている人を発見したら、泳いで助けに行くことはせず、すぐに監視員またはライフセーバーに知らせるか、119番の消防や118番の海上保安庁に通報する。)

※浮き輪等で浮いていて、気がつくとき沖に流されてしまうケースも多いとのこと。仕切りのある遊泳区域で使用しましょう。

◆◆◆ 一生懸命に走り、跳び、投げました ◆◆◆

7/14に校内陸上競技大会が行われました。〔◎全員参加種目：100m ◎個人種目：200m・女子800m・男子1500m・走幅跳・走高跳・ボール投げ〕暑い日でしたが、手を抜かず最後まで走りぬくという姿や、仲間へ声援を送るという姿がたくさん見られ、大変素晴らしい内容の大会でした。

【新記録(★)と最高同記録(●)】 ★山口颯大(1年男子200m=27秒78)  
 ★横山陸人(2年男子幅跳=5m15) ★萩野萌衣(3年女子ボール投げ=22m43)  
 ●藤井彩花(1年女子100m=14秒19/1年女子200m=29秒92)

8月の主な行事予定

★：北陵学習室開校日(放課後)  
 S：スクールカウンセラー勤務日

1	火	北陵学習室summer
2	水	北陵学習室summer
3	木	北陵学習室summer イングリッシュキャンプ
4	金	イングリッシュキャンプ
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	バレーボールジュニアキャンプ (9日:北陵中、10日:朝里中)
10	木	
11	金	山の日 学校閉庁日 全道中学生軟式野球大会 (~16日)
12	土	学校閉庁日
13	日	学校閉庁日
14	月	学校閉庁日
15	火	学校閉庁日
16	水	学校閉庁日
17	木	分掌会議
18	金	小中合同研修会
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	職員会議
24	木	校内研修
25	金	始業式(5h授業・給食あり) 選挙管理委員会
26	土	
27	日	バスケットボールU15大会
28	月	SDGsプロジェクト(2年)
29	火	分掌会議(5h授業) SDGsプロジェクト(2年) 生徒会役員選挙公示 部活動休養日
30	水	SDGsプロジェクト(2年) ★
31	木	立候補者選出(5h) 文化祭打合せ(6h) ★

新しい職員が着任しました

7/3、池田有珠養護教諭が着任しました。「生徒が健やかに、笑顔で学校生活を送れるようサポートしていきたい」と保健室の運営をスタートしています。

学習指導員が離任します

本日、末千尋先生と木戸俊輔先生が離任します。どんな生徒に対しても親身になって学習のサポートをしていただきました。年度途中の離任となり残念ではありますが、ありがとうございました。